

# パレット利用による荷役時間の削減、運行計画の見直し等 北海道

## 1. 実施者の概要

- 発荷主企業  
道南地区、道央地区の農産物出荷団体各1社
- 元請実運送事業者  
札幌市中央卸売市場までの農産物輸送を元請運送事業者として約4割を担当  
道南(片道約260km)及び道央(片道約160km)から札幌市中央卸売市場までの  
実運送の一部も担当
- 実運送事業者  
道南地区1社、道央地区2社
- 着荷主  
札幌市中央卸売市場を担当する卸売業者2社
- 荷種  
農産物(道南地区と道央地区から札幌市中央卸売市場への農産物輸送)

## 2. 事業概要

- 積み込み時の荷役作業の一部をパレット利用で、荷役時間と拘束時間を短縮

積み込み時の荷役作業	手荷役	一部をパレット荷役	短縮効果
荷主先に到着から出発までの時間	2時間13分	1時間39分	▲34分
拘束時間	14時間07分	12時間55分	▲1時間12分



※パレット利用により、ドライバーの疲労度も軽減

- 元請と実運送事業者の連携による積卸先件数の見直しで拘束時間を短縮

積卸先	複数力所	複数力所を削減	短縮効果
拘束時間	平均13時間47分	平均12時間40分	▲1時間07分

### 3. 課題

- ① 手荷役による積込み作業のため、時間がかかる。  
本対象の輸送では、トラックの荷台への積込み作業および荷卸し作業とも、ドライバーおよび作業員による手荷役にて行われている。また、荷卸し作業は、市場専用パレットに産地・品目・サイズ・等級別等に仕分けが必要となっている。
- ② 複数力所での積込み・荷卸し作業のため、時間がかかる。
- ③ 市場での荷役作業の順番待ちが発生し、時間がかかる。
- ④ 市場の荷役作業の場所が狭隘なため、時間がかかる。

### 4. 事業内容

- ① 荷役作業の短時間化・省力化～主として「パレットを利用した輸送システムの導入」～
  - 1) パレットを利用したトライアル輸送の実施
  - 2) パレットを利用した輸送の本格対応に向けた関係者間での議論・検討
  - 3) 荷卸し場所の効率的な運用方法の検討
- ② 積込み作業の効率化・短時間化
- ③ 元請運送事業者・実運送事業者・発荷主の連携による運行計画の見直し
  - 1) 元請運送事業者・実運送事業者の連携による、拘束時間の削減
  - 2) 共同配送・集荷と幹線輸送の分離など、運行計画の見直し
  - 3) 高速道路利用の検討

### 5. 結果

- ① 積込み時の荷役作業の一部をパレット利用で、荷役時間と拘束時間を短縮  
荷役作業時間が、トライアル前の手積みでの2時間13分から、一部パレットを利用したトライアル時には1時間39分と34分短縮。  
拘束時間は、トライアル前の14時間07分から、トライアル時は12時間55分と1時間12分短縮。  
ドライバーの疲労度が軽減。
- ② 元請と実運送事業者の連携による積卸先件数の見直しで拘束時間を短縮  
見直し前の複数力所での積卸しとなっていた運行時の拘束時間は平均13時間47分であったが、積卸し箇所数を削減した見直し後の運行時の拘束時間は平均12時間40分となり、1時間07分短縮。  
平均的な拘束時間は、1日原則である13時間以内に。

### 6. 荷主企業及び実運送事業者のメリット

- ① 農産物輸送では、荷役作業にかかる時間が拘束時間の長時間化の要因となっていること、また手荷役はドライバーにとって大きな作業負荷となっており、将来的に安定した輸送力を確保するためには、産地から消費地まで「同じパレットを利用した一貫輸送システムの導入」が望まれる。今回のトライアル輸送の結果、パレット輸送により荷役作業の短時間化と軽労化が達成できることが確認できた。  
今後も産地側代表や物流事業者、施設開設者等による検討組織で、本格的な議論、検討されることが望まれる。

### 7. 結果に結びついたポイント

- ① 運送事業者と発荷主が改善の取り組みに積極的であったことが大きい。各工程を見直し、出荷業者側・輸送事業者側・荷受業者側が時間削減に取り組む総和が、運転者の労働時間の短縮に結びつくものと思われる。